

# 平成28年度 学校関係者評価書

学校名 和歌山市立中之島小学校

作成日 平成29年2月17日

## 1 教育目標

### 豊かな心と学ぶ意欲をもちたくましく生きる子どもの育成

- ・豊かな心情をもち、思いやりのある子ども
- ・学ぶ意欲をもち、自らのめあて（課題）に向かって取り組む子ども
- ・いきいきと活動し体育学習を楽しめる子ども

## 2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力	体づくり
重点目標に対する意見	保護者・地域・諸団体との連携・協力・交流を積極的に図ることや、HP等での積極的な情報発信で開かれた学校づくりができると考えられる。	学校教育のあらゆる場面において、命の大切さや一人一人の人権が大切にされるようなご指導をお願いしたい。	学力の定着、向上は教員の大きな役割の一つである。研修に励み、指導力の向上を期待する。	運動の楽しさ、目標に向かって努力し達成した時の喜び等、体育科学習は、将来の体づくりに結びつくものであり、実践に期待する。
取組の状況に対する意見	学校・学年・学級だよりが定期的に出され、学校の教育活動や子ども達の状況がよくわかる。 英語ボランティアや図書ボランティアなど多くの方が学校の教育活動を支えており、子ども達はその方々のもつよさやすばらしさに触れられている。	縦割り活動や地域の方々との交流、幼保小連携事業などの実施は、豊かな心、思いやりの心づくりに有効である。 道徳教育の活動を、家庭に知らせてくれることは保護者の子育ての指針となり、豊かな心づくりにつながるように思う。	「読書タイム」は、集中力が身につき、1限目からの授業に落ち着いて取り組んでいるようです。 子どもアンケートによると83%が“毎日の勉強がわかる”と答えているが、学習に不安のある子に対しても意欲的に授業に取り組める工夫をさらにお願いしたい。	体育の授業のみならず、朝休憩、大休憩、昼休憩など子どもたちがからだを使って遊ぶことのできる環境整備をお願いしたい。また、子ども達の（テレビ）ゲームやメール、インターネット等についての弊害は、もっと家庭に呼びかけてほしい。
取組の適切さの検証結果に対する意見	11月の学校開放月間は、普段の子どもたちの様子を知る良い取り組みだと思ふ。授業参観の回数もちょうどいいと思ふ。 うどんパーティーは、子どもたちの秋の風物詩として定着し子ども・家庭・地域の方との交流の場となっている。	学年毎の役割や交流行事があり、低学年の子ども達は上級生の責任ある行動を見習おうとする姿が見られ、心の育ちを感じる。 幼保小の交流では、1・2年生の子ども達にも活躍の場が与えられ、やさしい心遣いが見受けられるとともに自己有用感が醸成されている。	基礎的な学力をそれぞれの学年で確実にしっかりつけてほしい。普段の授業や「中之島タイム」を通して、学力の定着が一層確実になるよう期待する。 「うちがくのすすめ」が配布され、家庭での学習の具体的な取り組み方が示されている。	子ども達が生きる力を身に付け、心豊かな子に育つよう、教職員のチームワークを大切にしたり取り組んでいただきたい。 紀の国チャレンジランキングを効果的に使い、自校以外の子どもたちと記録を競うことで、スポーツに関心をもたせ、体力作りに結びつけてほしい。
次年度に向けての改善方法に対する意見	地域の方や保護者のボランティアを招き、子ども達や教職員とより強く結ぶよう期待したい。 校門横の掲示板を保護者や地域の方々がよく見ている。学校の活動を知ってもらおう一番の広報の手立てであり、工夫して掲示してほしい。 HPでの発信が多くなり、日々子ども達の活躍ぶりがよくわかる。今後も楽しみである。	家庭での保護者の役割は心の育ちに重要であり、常に学校からアドバイスの発信を心がけてほしい。 また、学校にきにくい子どもやその保護者に対して、教職員やスクールカウンセラーを中心に、いろいろな働きかけを行ってほしい。（すべての子にとって居場所のある学校になるように）	学力の定着のためにも、家庭学習の習慣化や、規則正しい生活習慣の確立が重要である。 保護者の理解、協力なしでは成り立たない。 継続して、「うちがくのすすめ」や「ドラドラ貯金」（生活調べ）の集計結果を啓発していただきたい。	教職員の工夫により、遊具や遊びの環境が新しくなった。子ども達が工夫して遊べるものが増えた。 本校の子ども達の生活実態、食生活等を把握されている養護教諭やスクールカウンセラーの先生に講演会等でお話を伺うこともお願いしたい。

## 3 その他ご意見

- ・授業参観だけでなく、ゆっくりと子どもたちの様子を見させていただける時間も確保していただきたい。
- ・学校開放月に訪問された保護者や地域の方にも簡単なアンケートを実施してみてもどうか。
- ・懇談会・教育講演会への保護者の参加が少ないように思う。残ってもらう工夫が必要と考える。また残れない人のためにも懇談会の内容をまとめたプリントを出してほしい。参観日に各クラスに置かれているプリントは授業のめあてや見てほしいポイントなどが書かれていて、よい試みだと思うのでどの学年も出してほしい。
- ・ふれあい給食や運動会、なかのしま祭りなどでは地域の方にかくさんおこしいいただき小学校のこともよくわかっていただけたのではないのでしょうか。今後、さらに充実、発展していくことを期待したい。

